

区民活動センター運営委員会における指定事業の選定結果について

各運営委員会の年間活動計画を考慮し、暮らしやすい地域づくりに向けた取組みを推進するため、平成 24 年度、新たに設けた指定事業について、下記のとおり決定したので報告する。

記

1. 課題

「地域支えあいや地域の防犯・防災」

2. 応募した運営委員会数

6 委員会

3. 指定事業を選定した運営委員会数

4 委員会

4. 選定方法

（1）審査方法

指定事業計画書及びヒアリング

（2）審査員

地域支えあい推進室長

地域支えあい推進室区民活動センター調整担当副参事

地域支えあい推進室鷺宮すこやか福祉センター所長

地域支えあい推進室地域活動推進担当副参事

（3）審査の視点

①事業の先駆性・創造性

②地域ニーズへの貢献度

③事業の実行可能性

④事業実施による効果

⑤経費の妥当性

5. 指定事業の内容

(1) 鍋横区民活動センター運営委員会

(事業名) ママたちの防災 ―災害時子どもの命を守る地域の支えあい―

(内 容) 地域との繋がりが少なく、災害時の対応に不安を持つ乳幼児親子を中心に、地域防災会などの協力を得ながら、講座を開催したり、防災リストや防災マイブックを作成したりすることで、地域での助け合いの輪を広げる。

(2) 東部区民活動センター運営委員会

(事業名) 東部支えあいの地域づくり推進事業

(内 容) 地域支えあい生活支援マップの作成や支えあいセンターについての検討会の開催など、支えあい活動の仕組みを整備し、自助、共助、公助が機能する地域社会をつくる。

(3) 昭和区民活動センター運営委員会

(事業名) 地域支えあい活動「すてっぷ サロン」

(内 容) 地域のネットワークを活かして、高齢者が楽しくいきいきと過ごせるよう、講演会や映画鑑賞、体操など、年間 10 回の事業を実施する。

(4) 東中野区民活動センター運営委員会

(事業名) (仮)東中野 “いろり”

(内 容) 地域の高齢者が気軽に立ち寄れるサロンを作り、外に出る機会が少ない高齢者にも集まっていただくことで、日々の生活に張り合いをもってもらうとともに、顔見知りを増やすことで、いざという時に助け合える土壌を作り、地域の支えあいの精神を養う。

6. 加算額

(1) 鍋横区民活動センター運営委員会	200,000円
(2) 東部区民活動センター運営委員会	100,000円
(3) 昭和区民活動センター運営委員会	187,000円
(4) 東中野区民活動センター運営委員会	80,000円